

男子100kg級

準決勝戦第1試合

4 西山 将士 優勢勝 ⊖ 3 本郷 光道
(新日本製鐵・広畑) (フォーリーフジャパン)

共に右組みの両者、譲らず延長戦に突入。延長戦1分23秒に、本郷の隅落が有効となり、勝負が決す。

準決勝戦第2試合

3 出口 雄樹 大外刈 3 今井 敏博
(旭化成) (総合警備保障)

4 試合中一本勝3試合と今大会絶好調の今井は右組みで、左組みの出口と対戦。ここでも今井は、1分51秒に出口に大外刈で一本勝。

決勝戦

3 本郷 光道 合せ技 3 今井 敏博
(フォーリーフジャパン) (総合警備保障)

本郷左組み、今井右組み、左右のケンカ組み手の両者、互いに極端な左右の変形姿勢から組み際に技を仕掛ける。両者激しい攻防が続く中、1分37秒に本郷が左大腰に入ると、今井はこれを抱き着き小外掛で返そうとするが、本郷は逆に左大内刈で切り返して技ありを奪う。

そして、この直後の1分59秒には、本郷は今井を押し込み、場外際で今井の足が揃ったところを斜めから左大外刈で刈込むと、今井は後ろずさりしながら倒れ、再び技ありが宣告される。本郷2年ぶり2度目の優勝を果たす。